

5 学校質問紙の分析結果

(1) 良好な面

学校質問紙（小学校93質問，中学校92質問）の下野市の結果を全国（県），県と比べて，小学校中学校ともに上回っていた質問内容は，次のとおりである。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(12)	児童・生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか	91.7	90.5	100	90.2
(13)	児童・生徒は，礼儀正しいと思いますか	91.7	87.5	100	87.0
(18)	学校の職員用コンピュータ 1 台当たりの職員数（事務職員は除く） ※1人未満，1人以上2人未満	100	88.0	100	75.7
(19)	司書教諭が置かれていますか	83.3	54.2	75.0	55.5
(20)	学校図書館図書標準が達成されていますか	91.7	54.1	75.0	47.4
(23)	学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか ※週に数回程度行った，月に数回程度行った	50.0	47.9	75.0	13.2
(28)	児童・生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか	100	97.2	100	92.3
(29)	児童・生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか	83.3	70.6	100	96.2
(30)	学習規律（私語をしない，話をしている人の方を向いて聞く，聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか	100	97.2	100	96.2
(31)	学習方法（適切にノートをとる，テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか	100	98.0	100	97.3
(32)	児童・生徒に対して，学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えていますか	100	91.4	100	83.2
(36)	学校や地域であいさつをするよう指導していますか	100	99.3	100	98.6
(56)	国語の指導として，補充的な学習の指導を行いましたか	50.0	39.1	75.0	74.6
(58)	国語の指導として，目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	91.7	88.7	100	76.5
(59)	国語の指導として，書く習慣を付ける授業を行いましたか	91.7	89.4	100	91.1
(61)	国語の指導として，漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	100	98.0	100	97.9
(62)	算数・数学の指導として，補充的な学習の指導を行いましたか	100	87.8	100	86.6
(63)	算数・数学の指導として，発展的な学習の指導を行いましたか	91.7	53.9	100	56.7
(65)	算数・数学の指導として，計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	100	98.1	100	94.8
(67)	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	83.3	78.6	75.0	51.0
(66)	博物館や科学館，図書館を利用した授業を行いましたか	58.3	36.2	25.0	14.0
(68)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	41.7	37.7	100	97.8
(69)	学校支援ボランティアの仕組みにより，保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加	83.3	75.9	100	57.3
(71)					

(73)	国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与え ましたか	100	99.2	100	88.8
(74)	国語の指導として、保護者に対して児童の家庭学習 を促すような働きかけを行いましたか	100	94.2	75.0	70.6
(75)	国語の指導として、家庭学習の課題の与え方につい て、校内の教職員で共通理解を図っていますか	91.7	80.8	100	72.8
(77)	算数・数学の指導として、家庭学習の課題（宿題） を与えましたか	100	99.2	100	91.9
(79)	算数・数学の指導として、家庭学習の課題の与え方 について、校内の教職員で共通理解を図っています か	91.7	81.2	100	72.8
(80)	算数・数学の指導として、児童・生徒に与えた家庭 学習の課題について、評価・指導を行いましたか	100	96.0	100	94.1
(82)	家庭学習の取組として、学校では、児童・生徒に家 庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるよう にしていますか	100	88.3	100	84.1

数字は、選択肢1「よく行った」2「どちらかといえば、行った」の合計
または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計
上段の質問番号は小学校、下段の質問番号は中学校
太字の質問番号は、昨年度も上回っていた質問

学校は今年度も児童・生徒の様子について、礼儀正しく、落ち着いているととらえていることが分かる。児童・生徒質問紙の「基本的生活習慣」「規範意識」と照らし合わせても、児童・生徒の姿は合致していると見られる。

下野市はICT、学校図書館等の教育環境も恵まれていると見ることができる。

学校では授業や家庭学習の充実に力を入れていること、地域と連携した学習指導や体験活動の充実に努めていることが確認できる。これは、下野市の学校教育の重点や各学校の学校経営方針に基づく取組の成果が表れていると言える。

(2) 課題とされる面

学習状況調査の下野市の結果を全国と比べて、小学校中学校ともに下回っていた質問内容は、次のとおりである。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(17)	学校の教育用コンピュータ 1 台あたりの児童・生徒数 ※6人未満	50.0	51.0	25.0	48.9
(38)	国語の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、児童がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか ※月1回以上	8.3	19.3	0	6.0
(42)	算数・数学の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか ※月1回以上	25.0	29.7	0	15.2
(43)	平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか	83.3	92.4	75.0	91.1
(45)	平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか	66.7	85.0	50.0	81.5
(54)	第4学年(小)、第1学年(中)のときの算数・数学の指導として、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか ※習熟度別の少人数指導を行っていない	58.3	50.8	100	63.2
(55)	第4学年(小)、第1学年(中)のときの算数・数学の指導として、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか ※習熟度別の少人数指導を行っていない	58.3	54.4	100	65.3
(60)	国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	75.0	83.0	75.0	84.7
(83)	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらい	41.7	49.8	25.0	70.6
(82)	の頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか ※月に1回以上更新した				
(90)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成	91.7	93.7	75.0	86.1
(89)	果を教育活動に積極的に反映させていますか				

数字は、選択肢1「よく行った」2「どちらかといえば、行った」の合計
 または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計
 上段の質問番号は小学校、下段の質問番号は中学校
 太字の質問番号は、昨年度も上回っていた質問

ICT機器の日常的な活用や、全国学力・学習状況調査の自校の結果の活用の工夫が課題である。また、今後さらにホームページ更新や研修の成果の活用に努めることが必要である。

6 同一集団の変容

今年度の調査では、平成 19 年度の小学 6 年生が平成 22 年度の中学 3 年生となり、同一学年集団の変容を見ることが可能になった。

(1) 学力調査の結果より

① 全体比較

平成 19 年度（小学 6 年）と平成 22 年度（中学 3 年）の同一集団の変容を全体比較で見ると、すべての調査において、中学 3 年の方が全国平均との差が上回っており、伸びているととらえられる。

国語 A より国語 B、算数・数学 A より算数・数学 B の方が上回っている点において、同じ傾向が見られた。

特に、算数・数学において、顕著な伸びが見られた。

平成 19 年度（小学 6 年）と平成 22 年度（中学 3 年）の全国比

	平成 19 年度(小学 6 年)	平成 22 年度(中学 3 年)	H22 - H19
国語 A	○	○	+ 1. 7
国語 B	◎	◎	+ 0. 2
算数・数学 A	○	◎	+ 4. 2
算数・数学 B	◎	◎	+ 4. 5

※◎市の平均が全国平均を、5 ポイント以上、上回っている。

○市の平均が全国平均を、1 ポイント以上 5 ポイント未満、上回っている。

② 国語の課題

書く能力では、小学生で「一文で書かれた内容を理解し二文の構成にして書き換える」問題が、中学生では、「一文を二文に分けて書く」問題が、それぞれ正答率が低く、文章構成の力に課題があると考えられる。

読む能力では、小学生で「文章の内容と資料からの情報を正しく読み取り、要約したり書き換えたりすること」、中学生で「表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること」の正答率が低かった。基礎的・応用的な読解の力が課題であると考えられる。

③ 算数・数学の課題

どの領域においても、小中と共通して課題となった内容は、表やグラフ、問題文から必要な情報を適切に選択する力であった。それから、筋道立てて考え、課題の説明を、算数・数学的な表現を用いて説明することも課題であると考えられる。

(2) 学習状況調査の結果より

質問項目	H19 小学校 (%)		H22 中学校 (%)	
	市	全国	市	全国
【基本的な生活習慣について】				
(1)「朝食を毎日食べていますか」	97.3	95.2	95.0	93.3
(2)「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」	88.8	85.2	89.3	84.5
(4)「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」	80.9	71.9	75.6	71.0
(5)「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」	91.5	88.7	92.7	91.2
<p>○ 朝食の摂取率は、現在（中学校）の方が少なくなっているが、持ち物の確認の習慣は、小学校の時よりも定着してきている。</p> <p>○ 就寝時刻は小学校の時よりもばらつきが出ているが、起床時刻は定着してきている。</p> <p>○ 基本的な生活習慣については、どの質問内容も小中学校ともに全国平均を上回っており、比較的良好な生活習慣を維持していると考えられる。</p>				
【国語・算数（数学）について】				
(1)「国語の勉強は好きですか」	64.0	59.8	56.5	57.2
(2)「読書は好きですか」	69.4	65.1	78.2	68.8
(3)「算数（数学）の勉強は好きですか」	75.8	71.4	54.9	53.3
<p>○ 国語、算数（数学）ともに、小学校の時から現在（中学生）では、大きく好きな割合が減少している。小学校の時と現在（中学校）では、教科の好きな割合が逆転している。</p> <p>○ 読書が好きな割合は、小学校の時から大きく向上している。</p>				
【学校生活について】				
(1)「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」	97.8	96.2	95.0	95.0
(2)「学校で好きな授業がありますか」	94.6	92.8	81.6	80.3
<p>○ 友達とのコミュニケーションは、小学校の時から現在（中学生）ではわずかに減少しているが、比較的良好に保たれていると考えられる。</p> <p>○ 好きな授業については、国語・算数（数学）の質問と同様、小学校の時から現在（中学生）では、大きく減少している。</p>				
【家庭でのコミュニケーションについて】				
(1)「家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか」	90.9	87.7	86.3	82.7
(2)「家の人と学校での出来事について話をしていますか」	71.5	68.6	68.1	63.7
<p>○ 家庭でのコミュニケーションは、夕食、学校の話とも小学校の時から現在（中学生）では減少している。発達段階や全国平均との比較を考慮すると、比較的良好に保たれていると考えられる。</p>				
【規範意識・自尊意識等について】				
(1)「学校のきまりを守っていますか」	89.6	86.3	93.2	90.1
(2)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」	95.7	94.7	93.6	91.1
(3)「自分には、よいところがあると思いますか」	74.7	71.6	74.7	63.1
<p>○ 学校の決まりの遵守については、現在（中学生）の方が、意識が高まっている。いじめについての意識は、やや低くなっている。</p> <p>○ 自尊意識については、全く同じ割合であった。全国平均と比較すると、良好に維持されていると考えられる。</p>				